

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすひ			
○保護者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年年2月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年年2月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人ひとりに応じた活動の提供	・アセスメントを通じて、特性、発達段階等に考慮しながら活動を検討、提供している。 ・言語療法、運動療育等、専門性をもった職員、外部講師により提供を行っている。	・活動内容に関して、定期的かつ必要に応じて、話し合いの場を設け、見直しを行っていく。 ・専門的な取り組みの情報発信を行い、参加者を増やしていく。
2	・運動療育の充実	・遊戯棟があり、天候に左右されず、運動療育が提供できている。 ・定期的かつ、長期休み時には運動療育の機会を提供するようにしている。	・保護者の方からも、遊戯棟があり運動の機会が持てることを期待されている。定期的な機会の提供、内容についての検討、充実を図っていく。
3	・小学生から高校生がおり、関わりや交流を持てる環境がある	・皆で参加する活動や行事、日課や自由時間の中で関わりを持てる機会を提供している。 ・関わりや交流が持てる様、職員が間に入る等の配慮を行っている。	・継続して、活動や行事、日課等を通じて、関わりや交流を持てるように支援していく。
4	・定期的な研修の実施	・事業所内、法人主催の多種多様な研修の機会がある。 ・看護師、消防職員による、衛生管理や救命講習等の機会を設けている。 ・オンラインでの研修をいつでも受講できる環境がある。職員が必要な知識、技術等を考え、自己研鑽に繋げることが可能となっている。	・事業所として、職員として必要な研修を検討して、実施に繋げていく。 ・オンラインをはじめ、外部研修等への参加を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信力	・事業所、活動の様子等をお便り、ホームページでブログとして公表している。しかし、更新の頻度の低さ、認知が十分になされていない現状がある。支援プログラム、安全計画等も同様に認知は低いと感じられる。 ・アクセス方法、更新の案内等の説明が不足している。	・更新時には、お知らせをしていく。 ・定期的かつ、変更時には丁寧に説明を行っていく。 ・情報発信方法の検討を行っていく。
2	・地域との連携、交流	・コロナ禍以降、地域との交流の機会、屋外活動等の機会はほとんど持てていない。 ・各関連機関等とのやり取りが少ない。	・屋外での活動、イベントの参加、地域との交流の機会の検討。 ・各関連機関との連携、できることを検討していく。
3	・活動、生活空間等のスペースの狭さ	・利用人数によって、スペースの狭さを感じる時がある。 ・個室もあるが、数、スペースは広くはない。	・別棟(遊戯棟)の活用を含めて、検討をしていく。 ・小人数のグループ等で個室を使用するなど、検討をしていく。